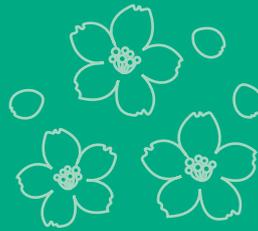




第 2 部



基本構想



将来像

将来像



本町は、平成の大合併により周辺市町村が合併を選択する中、2004(平成16)年6月の住民投票により、合併せずに「自立する道」を選択し、単独での自治体運営を行ってきました。

今後は、少子高齢化の進展に伴う人口減少や財源の減少等の影響を受け、様々な課題に直面していくことが考えられます。そのような中、将来にわたって大刀洗町が住みよい町として自立し存続していくためには、行政だけの力では解決できない課題が生じてきます。

町民一人ひとりが、自分たちの地域に関心をもち、住みやすい地域を自分たちが創っていくことで、地域への愛着を深め、10年後も「大刀洗町に住み続けたい。住んでよかった。」と誇れる大刀洗町であり続けることを目指します。

まちを「創る」3つのSTEP

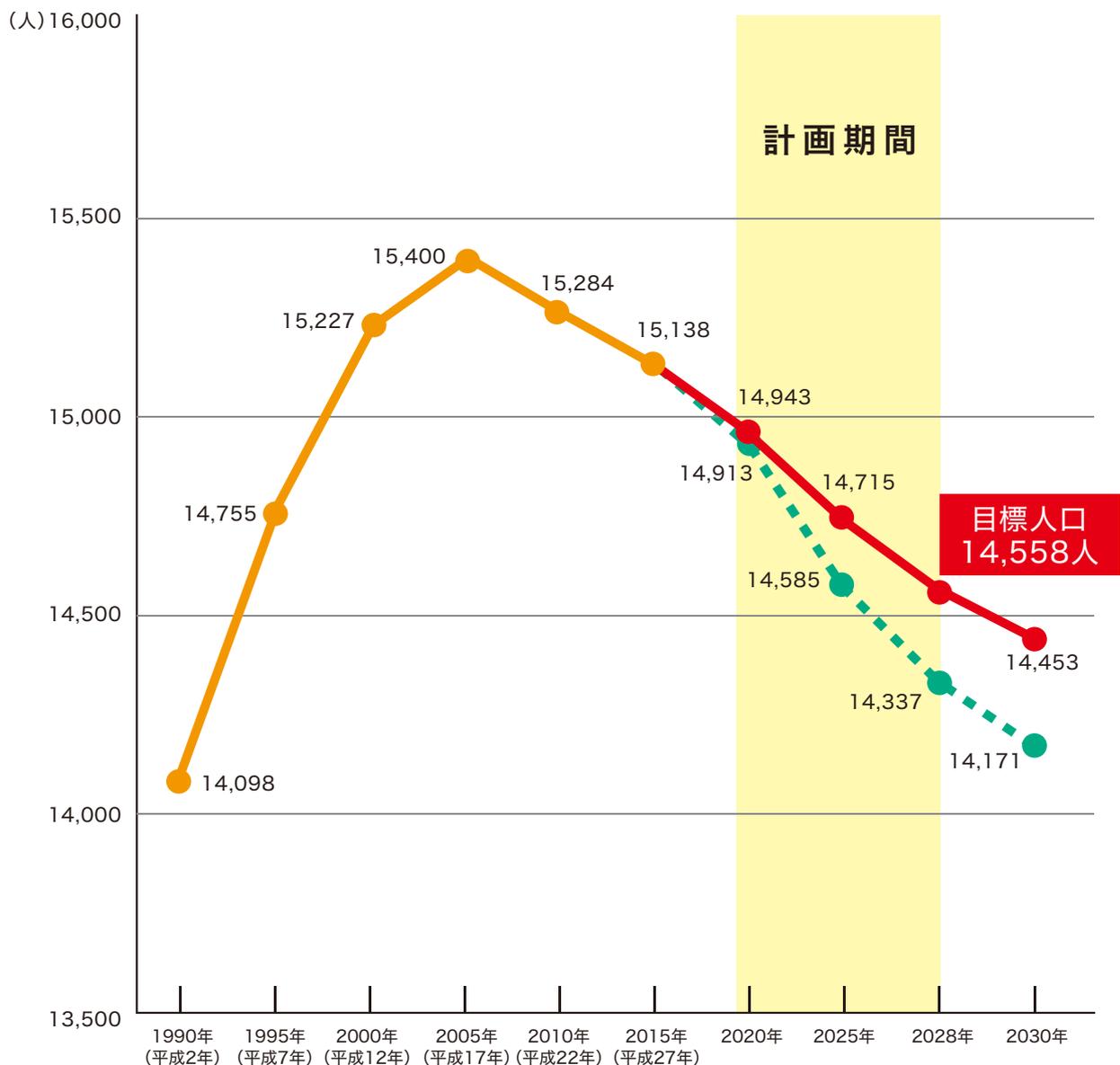


まちへの「誇り」の醸成



目標人口

国勢調査の結果から本町の人口の推移をみると、2005(平成17)年の15,400人をピークに2010(平成22)年15,284人、2015(平成27)年15,138人と減少していますが、「第5次大刀洗町総合計画」では、2015(平成27)年度に策定した「大刀洗町人口ビジョン」で掲げた目標人口を踏まえ、計画的な土地利用や住環境の整備、産業の振興、保健・医療・介護・福祉の充実、子育て・教育環境の充実といった施策を総合的に展開し、出生率の向上や移住・定住を促進していくことで、2028年の目標人口を14,558人と設定します。(対2015(平成27)年比 -580人、約4%減)



— 国勢調査 — 社人研 — 将来目標

出典:国勢調査及び、国立社会保障・人口問題研究所の推計に基づくコーホート法による推計人口

人口の将来イメージ



基本構想の体系図

大刀洗町の将来像である『わたしたちが創る 誇れるよかまち たちあらい』を実現するために、3つの基本目標を掲げます。

将来像

わたしたちが創る 誇れ

基本目標

豊かな暮らし

美しい景観や賑わいの中で、町民が安心して快適な暮らしを営んでいけることを目指します。

そのために、住宅や道路・河川、上下水道、公共交通等快適な生活の基盤となるインフラを維持・整備し、自然と都市機能の調和のとれた計画的な土地利用を進めていきます。

また、町民の憩いの場となる公園の整備や緑化を推進するとともに、美しい生活環境を保つため、環境に配慮した循環型社会・環境保全型社会を推進していきます。

安全に安心して暮らしていけるように地域の防災力や防犯力の強化、交通安全の推進を図っていきます。

さらに、農業や商工業等の地域産業の振興や、観光、国際交流を推進することで町に賑わいを創出していきます。

施策の大綱

快適

美しい

安心

賑わい

基本

輝く

互いの人権を尊重し支え合う温かい関係の中で、いつまでも多様な学びを得ながら成長し、健やかに充実した生活を送る人が増えていくことを目指します。

そのために、健やかな心身を保つための保健・医療・介護・福祉の充実・連携を図るとともに、子どもも高齢者も、障がいのある人もない人も、全ての町民にとって温かい地域社会をつくっていきます。

また、家庭、地域、学校が連携し、地域全体で子どもたちの成長を見守っていくための体制を整えていきます。町民一人ひとりが生涯にわたって生きがいを持ち、町の歴史や文化を学び次世代に引き継いでいきます。

るよかまち たちあらい

目標

ひと

施策の大綱

健やか

温かい

学び

基本目標

繋がるまち

施策の大綱

協働

拓く

町民・地域・行政の連携をはじめ、町に縁や愛着をもつ関係人口や他自治体との連携等様々な形での協働を確立し、社会情勢の変化に伴う課題に対応しながら未来を切り拓いていく町を目指します。

そのために、情報発信や対話といった広報・広聴機能を充実させ、町民や地域コミュニティとの情報共有や連携を強化していきます。性別や年齢に関わらない全ての人の積極的な参画を得ながら、町民・地域・行政の協働のまちづくりを推進し、大刀洗町のブランド力の向上を図っていきます。

また、町民ニーズを適切に捉え、限られた財源を効率的かつ効果的に活用しながら、質の高い公共サービスを提供し、町の明るい未来を切り拓いていきます。